

凌和電子株式会社
環境・安全報告書

Environmental and Safety Report

2024

CONTENTS

－目次－

1. 編集方針／報告対象範囲	1
2. トップメッセージ	2
3. 会社概要	3
4. 基本理念	4

Environmental

5. 環境マネジメントシステム	5
6. 2023年度環境目標及び活動実績	6
7. 環境配慮型製品の提供	7
8. 地球温暖化ガスの排出削減 地球温暖化ガスの排出削減推移 個別のエネルギー使用の内訳	8
9. その他の環境負荷低減活動 省資源活動、廃棄物の排出削減	9
10. 環境教育	10
11. 環境監査	11
12. 環境リスクマネジメント	12
13. 環境コミュニケーション	13
14. 地域貢献・工場独自の活動	14

Safety

15. 安全衛生管理	15-16
16. 環境負荷マスマランス	17

編集方針

凌和電子(株)は、環境マネジメントシステム(EMS)を導入した2006年以来、当社の環境活動をステークホルダーの皆様にご紹介する目的で毎年環境報告書を発行して参りました。今回は19年目となり、環境目標に掲げた活動や安全衛生活動、BCP、また社会貢献活動についても併せて紹介しています。

内容は、中期計画に基づき当社の重点目標とした「環境配慮型製品の提供」及び「地球温暖化ガスの削減」「工場独自活動」等の活動と併せ、地域社会との共生として社会貢献活動や行政施策への関わりも含めてご紹介しております。

本報告書は、環境省「環境報告ガイドライン」を参考としています。また、弊社ホームページからご覧いただけます。

報告対象範囲

●報告対象期間
2023年7月1日～2024年6月30日
(2023年度)

●報告対象
凌和電子株式会社
〔 本社、テクノワークス仙台東、
山形工場、一関システムセンター 〕

2 トップメッセージ

環境・安全報告書2024年版を発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、この度の能登半島大雨災害の影響により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、甚大な被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災された地域の皆さまの安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

災害の多い昨今ですが、2023年5月に新型コロナウイルスの感染法上の適用が見直され、普段の生活や経済活動はコロナ前の状況に戻ってきました。しかし世界情勢はウクライナ戦争に中東での戦争が重なり、政治面、経済面或いは人道上の問題として大きな影響を及ぼしています。日本では長引く円安により、物価の高騰が企業だけでなく家庭にまで影響を与え、厳しい状況が続いております。

そのような中で、当社も地元のみならず東北域外の

お客さまへのアプローチや技術面の強化を図り、広く必要とされる企業を目指しております。その為にも“サステナブルな企業”であることが、より重みを増して求められています。国連が定めた持続可能な開発目標・SDGsの精神は、当社のものでづくりの中へ落とし込み、社内はもちろんのこと凌和製品をご利用いただくお客様にも寄与するものでありたいと考えております。製品そのものの機能の他、今回はその一端として工場独自の活動紹介に、製品納入後に関わるメンテナンス等の活動を取り上げております。

本報告書は当社の地球環境保全や安全衛生への取り組み、2023年度の活動実績をまとめたものです。このレポートを通じて、凌和電子の活動をより身近に感じていただければ幸いです。

ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



これまで培ってきた五十余年の
さらに先へ、新たな歴史を築き
あげるべく全社一丸で挑戦を
続けてまいります。

2024年10月1日
凌和電子株式会社 代表取締役社長

安藤仁司

社名 凌和電子株式会社

創立 昭和47年7月28日

資本金 7000万円

役員 代表取締役社長 安藤 仁司
取締役会長 安藤 正如
取締役 川田 智
取締役 木村 恒好
取締役 板垣 篤
監査役 大河原 茂紀

(2024年10月1日現在)

事業内容

計測／検査器設計製作
計測／検査システム設計製作
画像検査／処理システム設計製作
データ収集／管理システム設計製作
磁気特性計測システム設計製作
各種プリント基板設計製作
各種アセンブリ(試作、量産)
リペア&メンテナンス

沿革

1972(S47)	凌和電子株式会社設立(仙台市舟丁)
1989(H1)	仙台市鶴代町に東部工場開設
1999(H11)	山形市高原町に山形工場を建設
2000(H12)	仙台市若林区六丁の目元町に元町工場を開設
2001(H13)	ISO9001:1994認証取得
2006(H18)	ISO14001:2004認証取得
2006(H18)	東部工場を元町工場に併合
2009(H21)	株式会社サンユー技研(山形県長井市)をM&A
2012(H24)	一関市狐禅寺に一関システムセンター開設
2013(H25)	一関システムセンターISO9001、14001拡張審査受審(認証取得)
2017(H29)	一関市東台に一関システムセンター移転
2023(R5)	仙台市若林区六丁目字南にテクノワークス仙台東を開設、元町工場営業終了

所在地

一関システムセンター

岩手県一関市東台14番地43
一関ロジスティクスセンター4階



本社

仙台市若林区南材木町48番地



山形工場

山形市高原町1483番1号

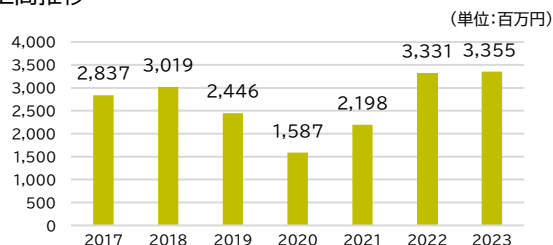


テクノワークス仙台東

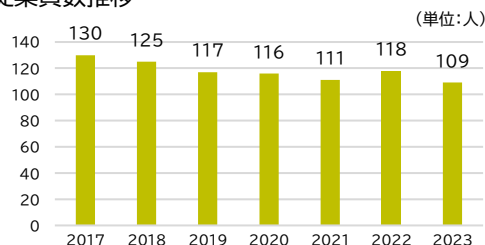
仙台市若林区六丁目字南27番1号
先2街区3画地



売上高推移



従業員数推移



4 基本理念

●基本理念

当社は、創業以来「創造と奉仕の精神」を企業理念に掲げ、日々の研鑽に努めることによって社会に貢献することをお約束しています。これに基づき経営品質方針及び環境方針を定め、具体的活動に展開しています。なお、2022年7月から新たな中期経営方針(5年毎)を定め展開しています。



企業理念

凌和電子株式会社は
「創造と奉仕の精神」をモットーに
日々、技術の研鑽に努め
より良い技術を創造して市場に提案しつづけることで
社会に奉仕します。

2009年1月1日
凌和電子株式会社
社長 安藤仁司

経営品質方針

基本理念

凌和電子株式会社は、企業理念を経営のよりどころとし、常に地域社会への貢献と顧客満足の追求を第一に、新しい時代に即した健全な企業活動(経営)を推進していきます。

行動指針

凌和電子株式会社は、基本理念のもと、以下の行動指針を定め展開していきます。

1. 規律ある社風のもと、優れた人材を育成し、着実な発展を遂げる組織を作ります。
2. 新たな知識や技術を積極的に取り入れ、顧客ニーズを捉えた満足度の高い製品、サービスを提供し続けます。
3. 改善の眼と挑戦する気概を忘れず、日々責任ある確かな業務と安全で効率よい生産活動に努めます。
4. 当社に関わるすべての人々と和を保ち信頼を重んじ、良好な関係を築きます。
5. 顧客要求事項、法令などに適合する製品提供のため品質マネジメントシステムを継続的に見直し、経営の体質強化を図ります。

環境方針

基本理念

凌和電子株式会社は、「地球環境の保護・保全」を重要な経営課題の一つと位置づけ、常に環境を意識したものづくりとサービスの提供を行うことで、環境にやさしい、環境と調和がとれた企業活動を継続・推進していきます。

行動指針

凌和電子株式会社は、企業活動の主体である「計測」と「制御」を特徴とする機械器具の開発、設計、製造、販売を通じて、以下の行動指針に基づき環境管理活動を推進し、地球環境との調和を目指します。

1. 製品の開発、設計、製造、販売、廃棄までの各領域において、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等により環境負荷の低減を進めると共に、環境にやさしいグリーン調達並びに環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
2. 継続的に環境マネジメントシステムの改善を行い、環境汚染の予防に努めます。
3. 当社の環境側面に関して、環境に関連する法令、条例及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
4. 本方針に基づく環境管理活動を展開するにあたり、環境目的、環境目標を設定し、計画に沿った活動を展開し、併せて定期的な見直しを行います。
5. 本方針を、当社で働く人はもとより当社の企業活動に協力している方すべてに周知するとともに、社会の方々にも開示します。

中期経営方針

スローガン

極める心
やり抜く力

～目標達成のため更なる高みを目指す～

1.意欲と活気ある職場作り

～はつらつ笑顔あふれるいきいき職場～

- ◆人的リソース配置の適正化
- ◆能力開発による多能工化推進
- ◆女性の積極登用と雇用形態の多様化

2.責任ある事業活動、生産活動

～活動目標必達意識、意欲の醸成～

- ◆パートナーシップによる効率的な生産活動
- ◆営業情報×生産情報の共有化で連携強化
- ◆PDCA回転による高い業務品質の追求

3.社会が求める生産活動

～持続可能な社会作りに寄与する

事業活動～

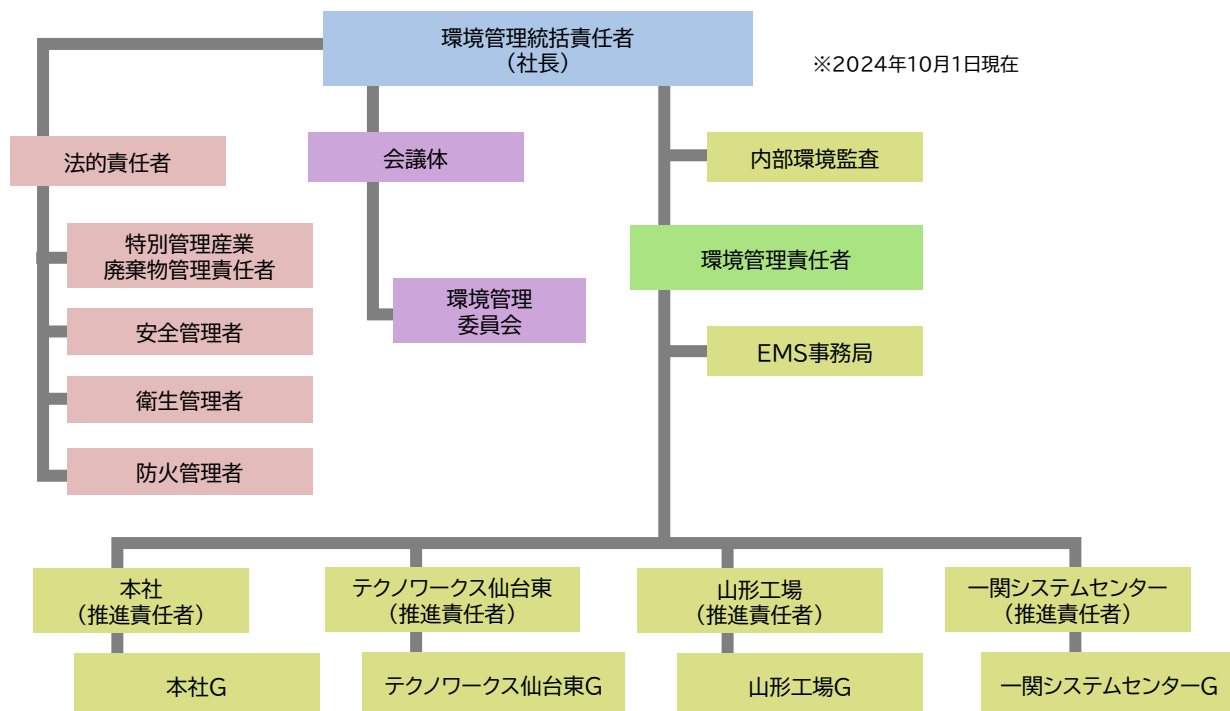
- ◆環境にやさしいものづくり推進
- ◆市場動向、ニーズにフィットした技術開発
- ◆先見性ある新分野への積極アプローチ

4.その他各部門の独自施策

5 環境マネジメントシステム

当社の環境管理体制は、2009年1月から社長が環境管理統括責任者となり、活動を牽引しています。各工場には推進責任者を置き、活動の取りまとめを行っています。

●環境管理体制



●持続可能な開発目標(SDGs)

2015年、国連において「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。これは、2030年に向けた持続可能な開発に関する17の目標と169のターゲットからなり、全世界が取り組むことによって、より良い国際社会の実現を目指すものです。当社も社会の一員として、SDGsを意識しながらCSR活動に取り組んでいきます。



●ISO14001(2015)認証更新

2023年10月にISO2015年版の更新審査を受け、認証更新となりました。

適用範囲:

- ・本社
(宮城県仙台市若林区南材木町48)
- ・テクノワークス仙台東
(宮城県仙台市若林区六丁目字南27番1号先2街区3画地)
- ・山形工場
(山形県山形市高原町1483-1)
- ・一関SC
(岩手県一関市東台14番地43一関ロジスティクスセンター4階)

認証登録機関:

Bureau Veritas Japan.co.,Ltd.

認証登録番号:

JP024372



2023年度環境目標及び環境実績

当社は、中期計画に基づいた環境マネジメントプログラムを策定しています。活動には、改善を目指す“改善活動”と社員に定着した“維持活動”の2種類があり、各項目を分けています。これらの活動はSDGsにも繋がるものであり、関連する目標には各Noのロゴを入れています。環境活動に取り組む中で、社員全員が関わりを持ち、SDGsへの貢献を自覚しながら活動しています。

●2023年度活動実績（報告範囲：本社、テクノワークス仙台東、山形工場、一関SC）

中期計画に基づき、全社目標として改善項目2項目、維持項目5項目を掲げています。

2023年度は中期計画の2年目となり、結果として各工場とも概ね目標達成、または指標値以内となりました。絶対値ではすべて100%以上の達成となりましたが、従業員数の減少により人数原単位で増加となった項目もありました。なお、2023年度の本社・テクノワークス仙台東は工場移転によるデータ監視期間とした為、No.2/3/4の全社評価には含まれません。

評価基準 ◎：中期計画をクリア ○：計画対比100%以上達成 △：90%以上達成 ×：90%未満
実績算出 実績値(%)：2023年度計画対比／[]は同原単位比(人員ベース)
維持活動の管理は指標値を基準として10%増までは管理内とする

No.	項 目	関連する SDGs	全社目的・目標		全社活動結果	評 価	関連 ページ
			中期計画 2026年度	年度計画 2023年度	実績 (計画対比)		
1	環境配慮型製品の提供		全製品環境 配慮型化の推進継続	新規製品アセスメント 100% 環境配慮型製品 登録80%以上 ※自主的RoHS 12件 ※RoHS10対応3件	アセスメント100% 登録100% ※自主的RoHS 12件 ※RoHS10 6件	○	P.7
2	地球温暖化ガスの排出削減		5か年(17～21年) 平均CO2排出実績 比△0.5%以下	5か年(17～21年) 平均CO2排出実績 比△0.2%以下	△29.4% [△11.3%]	◎	P.8
3	廃棄物の排出削減 (一般廃棄物)		2022年度 指標維持継続	5か年(17～21年) 平均実績値以下	△20.1% [+3.5%]	◎	P.9
	廃棄物の排出削減 (産業廃棄物)		ゼロエミッション 維持継続	再資源化率95%	全工場:100%	◎	P.9
4	紙資源の削減(購入量)		2022年度 指標維持継続	5か年(17～21年) 平均実績値以下	△34.2% [△28.8%]	◎	P.9
	節水活動の推進(水使用量)				△12.7% [+3.9%]	◎	P.9
5	環境リスクの低減		環境コンプライアンス の拡大強化	緊急事態対応訓練の 実施	各工場訓練実施	◎	P.12
6	オフィス用品のグリーン調達(調達率)		100%継続	100%継続	100%	◎	-
			環境安全 報告書発行	環境安全報告書発行 環境ニュース発行	環境安全報告書発行 環境ニュース 12回発行	◎	P.13
			エコ生活推進	情報提供 (原則隔月)	環境ニュース特集号 6回発行	◎	P.13
7	環境コミュニケーション		地域・行政への 協力	地域・行政への 協力3件以上	・デコ活参加登録 ・クルビズ、ウォービズ 運動参加 ・山形まるごとCOOL CHOICE事業所登録 ・仙台市まち美化 サポーター更新・活動 ・エコにこゴールドマイスター 認定・更新 他	◎	P.13
			工場独自活動の強化 (部署毎+社会貢献)	工場独自活動の強化 (部署毎+社会貢献)	全工場で実施	◎	P.14

※本社・テクノワークス仙台東は工場移転によるデータ監視期間とした為、No.2/3/4の全社評価には含まれません。

※No.1、2は改善活動 No.3、4、5、6、7は維持活動。

➡No.1のRoHS目標については努力目標としています。

※No.1の「自主的RoHS」とは、客先指定がなくとも自主的にRoHS対応とした製品のこと。

※工場独自の活動は改善活動とし、P.13にご紹介しています。

7 環境配慮型製品の提供

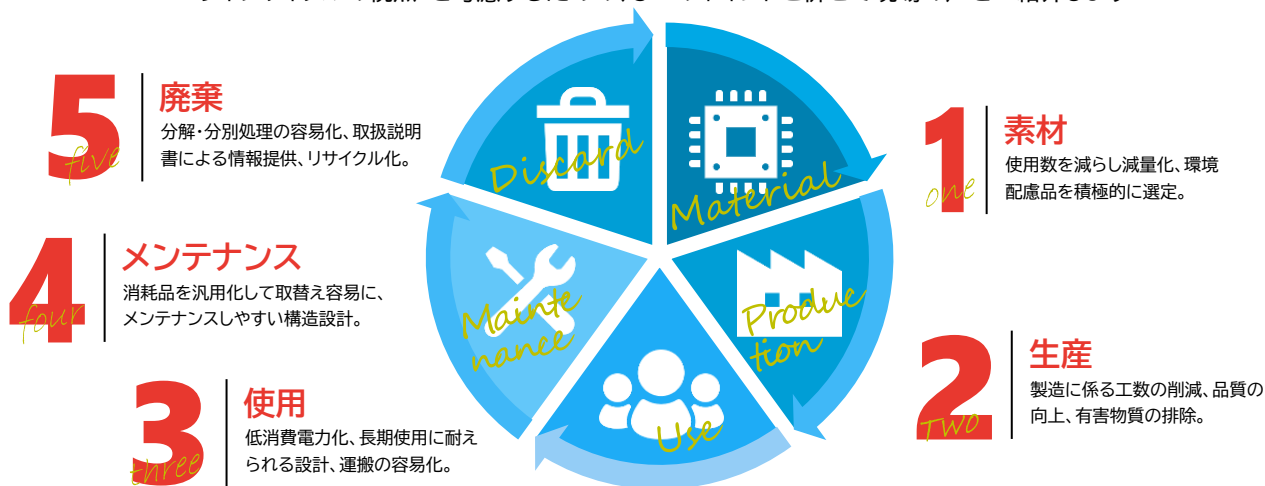
SDGs No



当社では環境へ配慮した製品を創出することで、お客様や社会全体への環境改善への貢献を目指しています。当社は一品一様のものづくりを主としていますが、製品アセスメント評価を行っています。ライフサイクルの視点で環境への配慮が認められたものについては「環境配慮型製品」として登録する仕組みです。

5 製品アセスメント5つのポイント

当社は環境配慮型製品を提供するために、新規設計製品はアセスメント評価を行っています。“ライフサイクルの視点”を考慮するための、5つのポイントと併せて現場の声をご紹介します



凌和電子の環境配慮製品事例

CO₂モニター/暑さ指数モニター 快傑！むすび丸

空気中のCO₂濃度・暑さ指数をそれぞれ計測する装置。感染症対策に、熱中症対策に、様々な空間やシチュエーションでお使いいただける可愛い商品となっています。

特徴

- ・簡易構造で分解容易
- ・自主的RoHS(6物質)対応製品
- ・分別表示あり
- ・廃棄時情報の提供
- ・三密対策、熱中症対策の効率化



※仙台・宮城の観光PRキャラクター「むすび丸」とコラボした商品です

自動搬送ユニット

モバイルロボットを使用したワーク搬送を自動化する装置。機械による自動化で仕事の正確性を高め、省人化により貴重な人材確保に貢献します。

特徴

- ・RoHS(10物質)対応製品
- ・金属リサイクル可能
- ・標準工具で分解可能
- ・キャスターにより運搬容易化
- ・取説に消耗品情報記載
- ・当製品使用時の作業効率向上



Voice ロボット制御で省人化へ

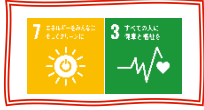
山形工場ではロボット関連の仕事に力を入れています。近年省人化に取り組まれる企業様は増えており、一般的な所だとファミリーレストランの給仕ロボットが想像しやすいかと思えます。そういったロボット制御技術で当社も人材確保へ悩むお客様へ協力しています。

昨今ではRoHS等の有害物質不使用や省エネルギー、拡張性、保守性、廃棄時の処分しやすさ等、お客様に直接関わる環境的な視点が求められています。私たちは技術力をもってお客様の声に丁寧にお答えし、期待以上を提供できるように取り組んでいます。



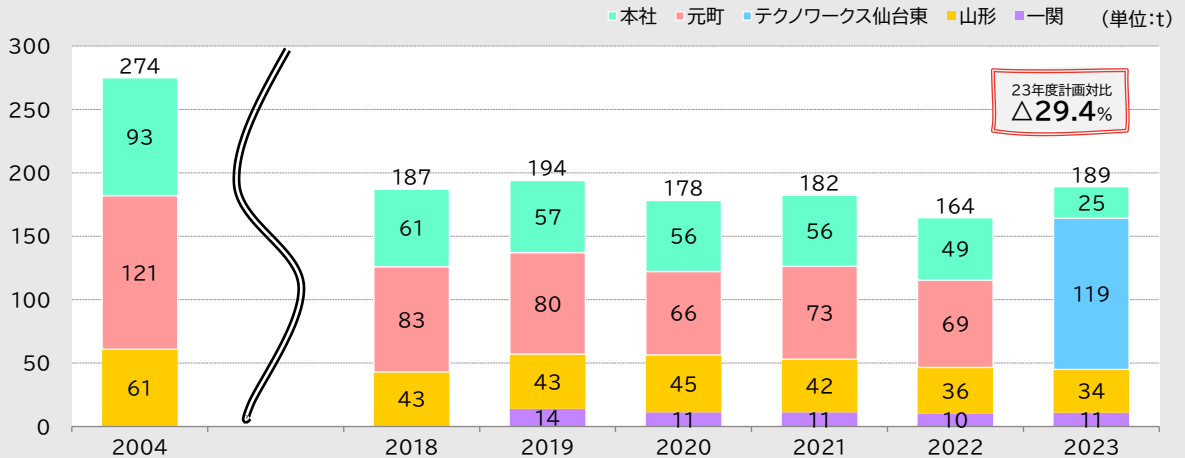
技術課
● 柴崎 俊雄 ●

SDGs No



当社は、事業活動によって生じるあらゆる環境負荷の低減に努めています。中でも地球温暖化ガスの削減は世界の課題であり、当社でも重点項目と位置付けています。2023年度の二酸化炭素の排出量は189tで、計画対比で29.4%の削減となりました。ただし本社・テクノワークス仙台東は工場移転によるデータ監視期間とした為参考値となり、全社の計画対比には含まれません。

地球温暖化ガスの排出削減推移

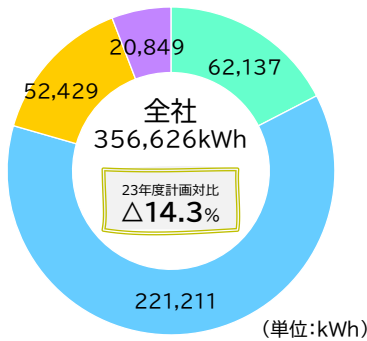


個別のエネルギー使用の内訳

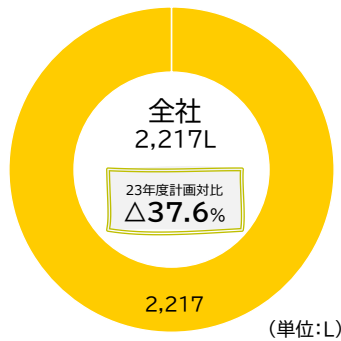
地球温暖化ガスの内訳としては、計画対比で、電気使用量14.3%減、灯油使用量37.6%減、ガソリン使用量47.9%減となりました。

これらは規模の大きなテクノワークス仙台東が監視期間の為、ほぼ山形工場の削減状況となっており、仕事の状況と気候による影響が大きいものと見ています。

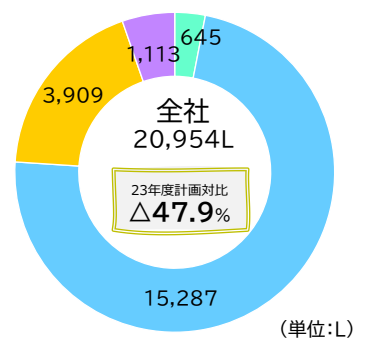
電気使用量の削減



灯油使用量の削減

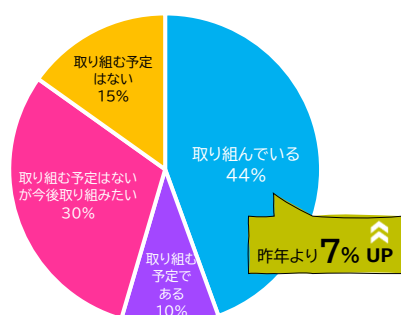


ガソリン使用量の削減

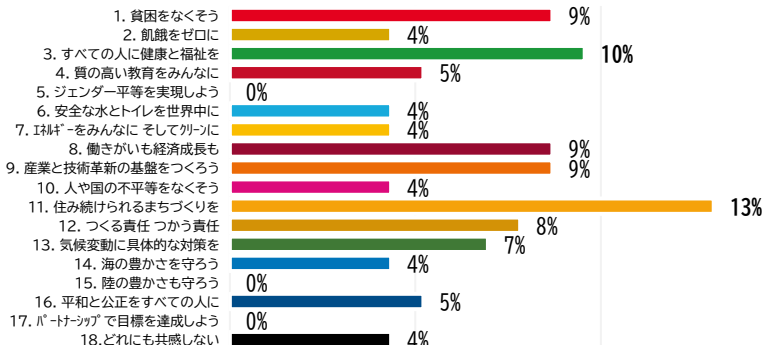


持続可能な開発目標(SDGs)が世界の課題となっています。当社でもISO活動の中で取り組んでおり、全社員への意識調査を実施しています。SDGsへの取り組みが「アタリマエ」になる社会を目指して、意識向上に努めてまいります。

Q1.個人または家族でSDGsに取り組んでいますか？(会社以外での取り組み)



Q2. SDGsの具体的なゴールのうち、どの目標が一番共感しますか？



SDGs No



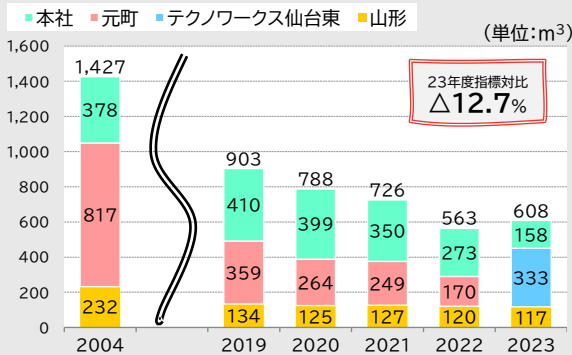
当社では地球温暖化ガスの低減の他、省資源活動と廃棄物の排出削減活動を行っています。これらの活動はすでに社員へ定着したため、維持活動としており、削減状態の維持に努めています。

※2023年度の本社・テクノワークス仙台東は事業所移転によるデータ監視期間とした為、参考値となります。
全社の指標対比には含まれません。

省資源活動

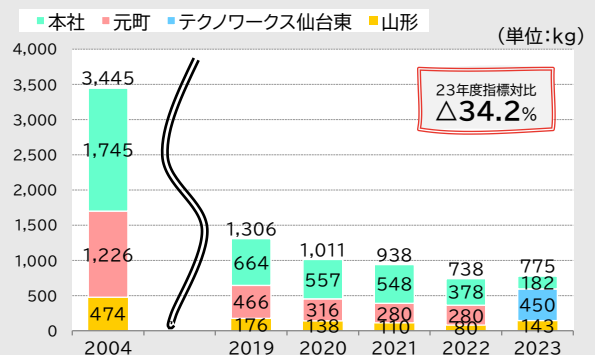
節水活動の推進

2023年度の水道使用量は608m³で、指標対比△12.7%となりました。水は基本的に生活系での使用しかないので、インフラが新しくなったことで削減が図れたものと思われます。



紙資源の削減

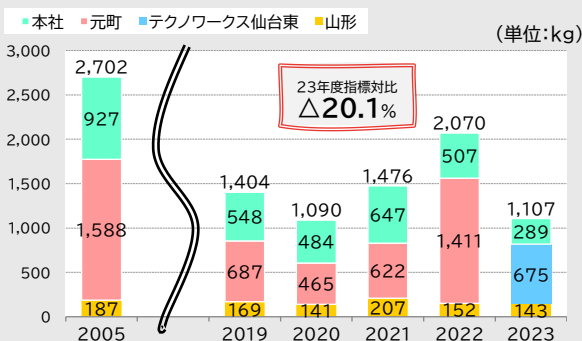
2023年度のコピー用紙等の紙購入量は775kgであり、指標対比34.2%の削減となりました。書類の電子化が徹底されてきており、紙の使用は継続的に減少しています。



廃棄物の排出削減

一般廃棄物

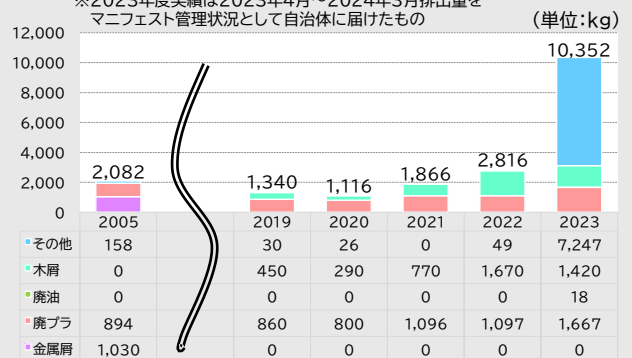
2023年度の一般廃棄物排出量は1,107kgとなり、指標対比20.1%減となりました。昨年の引越しに伴う増加を除くと、多少山谷はあるものの横這いの結果となっています。



産業廃棄物

2023年度の産業廃棄物の排出量は10,352kgでした。「その他」は移転に伴う引越ごみとなっています。

※2023年度実績は2023年4月～2024年3月排出量をマニフェスト管理状況として自治体に届けたもの



Voice

●引越しのごみ分別

2023年4月は、テクノワークス仙台東に移転するため引越し作業が発生しました。特に元町工場は取り壊し予定であったため、全てを処分する必要があり、なかなか大変な作業となりました。金属類は分別しリサイクルしたため、産廃の実績は0kgとなっています。5月には身軽になってスタートできました。



総務課
●小川 俊●



システム技術課
●大野 訓男●

●内部監査員の視点で

新しく内部環境監査員に任命され監査に参加しました。今までも省エネや分別等の一般社員向け活動は実施していましたが、他部門へのISO監査となると自分自身の理解をより深める必要性を感じています。環境監査は現場確認が大切です。監査の経験を経て“現場”である日常生活の視点が少し変わったような気がしています。

10 環境教育

SDGs No



当社は、年度環境教育訓練計画のもと種々の内容の教育を行っています。
新型コロナウイルス流行後には、対面教育は必要に応じて実施し、移動が発生する場合は基本的にWebを活用したリモート教育形式をとっています。

●環境教育の実施

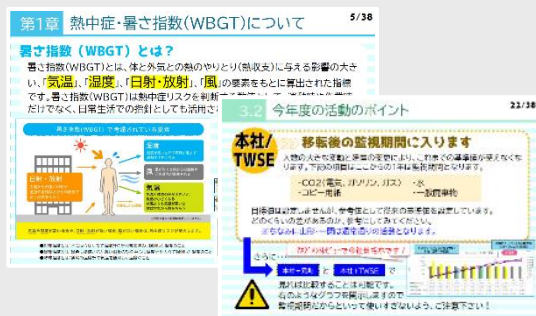
教育名	実施部門	実施日	受講者数
管理職・一般社員教育	品質管理課 (推進責任者)	全社 ~8月10日	121名
専門分野別教育			
内部環境監査員フォローアップ教育	品質管理課	全社 8月28日	11名
		全社 3月05日	6名
化学物質管理者教育	品質管理課	本社 9月22日	1名
灯油管理者教育	品質管理課	山形 9月15日	1名

※各工場の対象者に対して一括して実施したものを「全社」としました

2023
8月

階層別一般教育

環境関連トピックスや前年度の環境活動の結果・今年度の活動内容の周知を目的として毎年7～8月に定期的に行っています。



教育資料

2023
8月

内部環境監査員 フォローアップ教育

内部監査実施前に監査員へ向けたフォローアップ教育を実施しています。重点監査項目の伝達や、監査チームの力量向上を狙いとしています。



上期教育の様子(リモート含む)

2023
9月

専門教育 化学物質管理者教育

新たに任命された化学物質管理者を対象とした教育を行いました。使用は少量でも管理者を置きリスクに対応しています。



教育の様子

2023
9月

専門教育 灯油管理者教育

山形工場で灯油を使用するため、新たに任命された灯油管理者を対象とした教育を行いました。適切な管理を依頼しています。



教育の様子(リモート)

11 環境監査

当社は、3つの柱からなる監査体系をもって環境マネジメントシステムの維持・向上を図っています。

●監査体系

監査の種類	監査の内容	実施
ISO14001(2015年版) 維持・更新審査	外部審査機関による ISO14001(2015年版)維持・更新審査	年1回
内部環境監査	当社認定監査員によるパフォーマンスを含む ISO14001適合監査(全職場)	年1回
環境管理責任者パトロール	環境管理責任者を隊長とする環境、品質、 安全衛生を含めての総合監査	年1回

2023
10月

ISO14001(2015)更新審査

2023年10月に受審した更新審査では不適合はなく、認証更新しています。
また、アドバイス事項に関しても積極的に改善に結び付けるために対応しました。



トップインタビュー風景



現場審査(テクノワークス仙台東)

2023
9月

内部環境監査

2020年度から環境と品質合同の内部監査を実施しています。現場とリモートをうまく組み合わせ、効率的な監査を心がけています。



テクノワークス仙台東

2023
10月

環境管理責任者 巡回パトロール

2023年10月に行った環境管理責任者主催の
パトロールでは全ての拠点を取り回り、環境・品質・安全の3つの観点から監査を実施しています。



一関

12 環境リスクマネジメント

SDGs No



当社では環境負荷の大きな施設・設備や化学物質の取り扱いはありませんが
コンプライアンス意識を持ち、各種活動を行っています。

●緊急対応訓練

当社では、敷地外に環境汚染を及ぼす可能性がある要因として灯油の漏出事故をあげています。
今年度も給油の際の漏出事故を想定して緊急対応訓練を行いました。



山形

●第一種特定製品の簡易点検実施

当社では、フロン排出抑制法に則り業務用エアコン等の第一種特定製品の「簡易点検」を実施しています。一定規模以上の製品については「定期点検」も実施します。



定期点検の様子

●廃棄物収集運搬・処理業者現地確認

当社では、委託している産業廃棄物収集運搬業者及び処理業者を計画的に訪問し、保管状況、作業状況、法対応状況等の適切性を確認しています。



廃棄物処分場A



収取運搬業者B

●法遵守及び苦情への対応

当社は、創立以来環境関連法の違反はありません。又、行政からの指導並びに地域住民からの苦情もありませんでした。

●当社に適用される環境法規制等

当社は、各工場において適用される環境法規制等についてリストを作成し、定期的に法規制遵守状況を確認しています。

環境法規制等一覧

大気汚染防止法 水質汚濁防止法 省エネ法 廃棄物処理法	家電リサイクル法 建設リサイクル法 労働安全衛生法 (鉛則、有機則) 消防法	フロン排出抑制法 自動車リサイクル法 宮城県公害防止条例 山形県環境保全条例 岩手県環境保全条例	仙台市公害防止条例 山形市環境条例 一関市環境条例 仙台市火災予防条例 山形市火災予防条例 一関市火災予防条例
--------------------------------------	--	--	--

(努力義務は除く)

13 環境コミュニケーション

SDGs No



当社は、継続してステークホルダーの方々に環境に関わる情報を発信しています。今年度も社外に向けては凌和電子ホームページ及び環境・安全報告書での情報発信、また社内向けには社内イントラネット、環境安全衛生ニュースの発行を継続しています。

●当社のステークホルダー

行政・業界団体

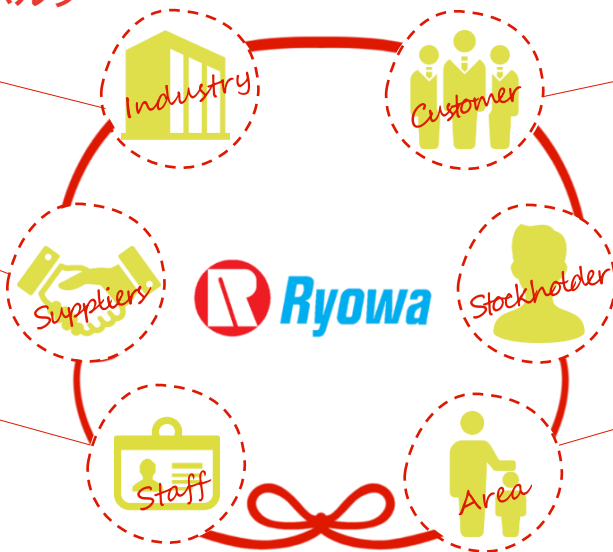
- ・環境安全報告書
- ・ホームページ
- ・活動への参加・協力

取引先

- ・環境安全報告書
- ・お取引様へのお願い

社員

- ・環境安全衛生ニュース
- ・社内Web
- ・環境掲示板



顧客

- ・環境安全報告書
- ・ホームページ

株主

- ・環境安全報告書
- ・株主総会

地域住民

- ・環境安全報告書
- ・ホームページ
- ・地域美化活動

●情報発信

環境・安全報告書

当社の環境と安全衛生活動を広く知ってもらうことを目的として環境・安全報告書を発行しています。今回は第19回目となります。

環境・安全衛生ニュース(エコ生活情報)

環境・安全衛生ニュースは、社員への情報提供として視覚的で分かり易い方法として、月1回の発行を継続しています。

ホームページ/社内イントラネット

当社ホームページに環境報告書や環境コミュニケーション情報を開示するとともに、社内向けにはイントラネットに環境に関わる帳票等を開示しています。

●地域、行政活動への参加、協力

デコ活への参加

従来の「Fun to Share」から移行した、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを作る国民運動「デコ活」に賛同し、脱炭素社会の実現に取り組んでいます。

エコにこゴールドマイスター

当社は仙台市のエコにこマイスター認定制度に登録し、より積極的に環境活動に取り組む企業として「ゴールドマイスター」の認定・更新を受けました。

山形まるとCOOL CHOICE事業所

山形工場では、COOL CHOICEに賛同する企業として、山形市の取り組みである「山形まるとCOOL CHOICE事業所」に登録しています。



凌和電子ホームページ



環境ニュース



山形まるとCOOL CHOICE事業所登録証



当社での賛同・登録キャンペーン



14 地域貢献・工場独自の活動

当社には4つの工場があり、それぞれ連携しながら仕事をしています。各工場に所属する部署単位で独自目標を設定し、仕事の内容に沿った活動を展開しています。社員が自ら目標とSDGsとの関連を意識し、レベルアップに向けて取り組んでいます。

1 本社

本社はテクノワークス仙台東への移転に伴い、在籍は総務・経理のみとなっています。全社に関わる申請類の効率化や時間外勤務の削減等を行いました。また参加人数は減りましたが、仙台市へ登録中の「まち美化活動」等の社会貢献も継続行っています。

仙台まち美化活動



令和元年度にはまち美化活動の継続が評価され、仙台市公衆衛生功労者として感謝状をいただいています。その後も継続して活動を行っています。



活動の様子

2 テクノワークス仙台東

2023年5月に移転・開業したテクノワークス仙台東は、設計・製造・営業・購買等が所属する当社の旗艦工場となっています。環境の視点からも製品性能アップを図り、小型化・省エネ化・長期使用化・メンテナンス性向上・廃棄容易化等の目標に取り組んでいます。

メンテナンス性を考慮した設計 保守関連情報の提供



システム設計を担当する部署では、製品のメンテナンスを考慮し、基板の小型化や着脱の容易化を行いました。お客様への情報提供で長期使用化も目指しています。



製品事例

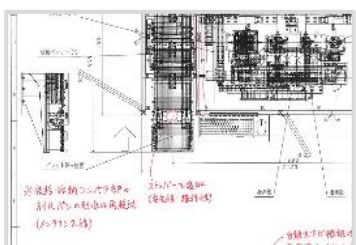
3 山形工場

山形工場では、設計・製造両方の部隊が所属している30名程度の工場です。設計部門では安全性・保守性を高める取り組みを行っています。製造部門では業務改善活動に取り組み、作業効率アップやミスの撲滅等品質改善と合わせた取り組みを行っています。

安全性・保守性を考慮した設計



設計部門では、お客様が安全に使用できる製品を目指し設計をしています。セーフティドアや機構部へのアクセス等、ポイントを設けレビューしています。



DR記録例

4 一関システムセンター

一関システムセンターは設計部隊のみが所属する5名程度の小規模な事業所となっています。所属部署はテクノワークス仙台東に跨っており、エレキ設計において製品の長寿命化を目指しています。また、納入済みの製品にお客様の要望へ応えた改造も行っています。

製品の長寿命化推進



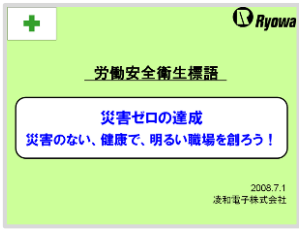
エレキ設計において、操作性の向上や品種登録のしやすさ、部品交換の容易さ、メンテナンスフリー部品の検討等、長く使いやすい製品設計を推進しています。



製品事例

15 安全衛生管理

当社は、「災害ゼロの達成(災害のない、健康で、明るい職場を創ろう)」を標語とし、安全衛生計画に則った活動に取り組んでいます。労災ゼロを目指し、職場環境の改善や安全の為に安全衛生委員会を開催しています。また、事業継続計画(BCP)を策定し、社員への展開を図ると共に災害への備えを進めています。



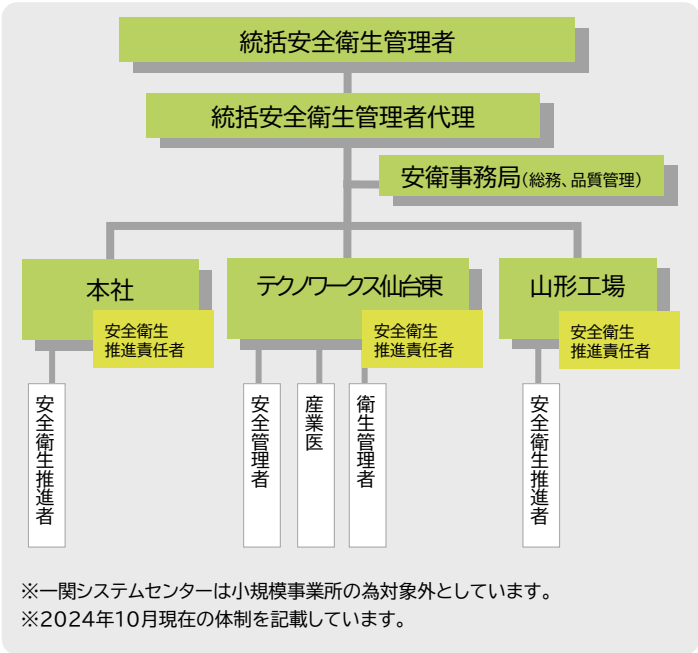
●安全衛生活動計画と実績

2023年度の活動計画に基づき活動の展開を図りました。全て計画通り実施しています。

重点実施項目	主な実施内容	実績評価
安全衛生管理体制の確立	組織体制見直し(管理組織・委員会組織)	○
	安全衛生計画の作成	○
	安全衛生委員会の開催	○
安全衛生意識の啓発・教育	安全衛生教育	○
	消防訓練の実施	○
健康維持・増進活動	健康診断の実施、受診の徹底	○
	ストレスチェックの実施	○
職場の作業環境整備	危険性・有害性の調査	○
	安全パトロールの実施	○

●安全衛生管理体制

社長を安全衛生管理統括責任者とし、工場毎に推進責任者及び法定管理者を定めています。



●安全衛生委員会

全社及び各工場の安全衛生委員会組織に基づき、全社は年1回、工場は毎月安全衛生委員会を開催しています。

工場の委員会では社員からヒヤリハットをはじめとした様々な意見を吸い上げ、改善を図ります。工場安全パトロールも隔月実施しています。

●健康診断

当社は、毎年定期健康診断、生活習慣病予防診断、特殊健康診断(鉛、VDT)を実施しています。

2023年度の定期健康診断において未受診者はありませんでした。

工場	受診率
本社	100%
テクノワークス仙台東	100%
山形工場	100%
一関SC	100%

●防災訓練

各工場ごとに火災や地震を想定した訓練を実施しており、災害リスクに備えています。



●安全衛生教育

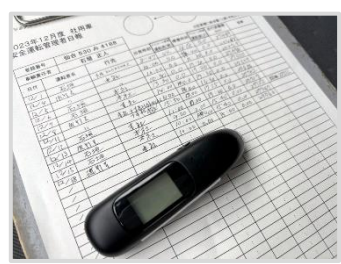
当社は、毎年1回全社員を対象に安全衛生教育を実施しています。

●ストレスチェックの実施

当社は、テクノワークス仙台東が50名以上の事業所となったことを受け、全拠点で年1回のストレスチェックを実施しています。

●アルコールチェックの実施

法改正により、2023年12月1日からアルコール検知器による運転前の確認を実施しています。



運転日報とアルコールチェッカー

●BCPの対応

当社では東日本大震災をきっかけに事業継続計画(BCP)を策定し、2013年度より運用を行っています。

事業の継続・早期復旧を図るため、発動フローを用意し災害に備えています。また、災害伝言ダイヤルや緊急連絡網の訓練の機会を設け、緊急時に使用できるように全社員へ周知しています。

防災カードの準備			※防災カードを携帯することが望ましい(任意)	
氏名	性別	生年月日	本社	南村本町小学校
	男・女		TWSE	鹿井小学校
住所			山形	南村小学校
			一関	一関市立南村小学校
連絡先	会社	自宅	NTT災害伝言ダイヤル	
緊急連絡先			本社	171-2-022-266-4188
氏名	連絡先	携帯	TWSE(一関含む)	171-2-022-287-1041
			山形	171-2-023-642-1776

防災カードの準備

Voice 安全衛生委員会への参加

安全衛生委員会のメンバーに任命されたときは少し驚きました。そういった会議体には役職者の方が参加されるものだと思っていたので、まだ入社2年目の私たちが選ばれるとは思っていませんでした。緊張しながら委員会に参加してみると、思ったような堅い空気ではなく受け入れてもらえたので安心しました。安全衛生活動というと、学生時代はそう馴染みがないものですが、製造現場では身だしなみ1つを取っても安全に繋がる大切なものだと感じています。

テクノワークス仙台東では毎月工場内の安全パトロールを行い、気付きをあげて改善を行います。先輩方の指摘を聞き、安全への視点について勉強しています。私たちも良い改善につながる指摘を行い、社員の一人として貢献できればいいなと思っています。また、部署内の意見吸い上げや取りまとめ、さらに委員会での発表等はメンバーに選出されたからこそ経験です。良い機会をいただいたので、同期としてお互いに成長していきたいと思います。



営業課
熊谷 愛莉
機器製造課
鈴木 健太

16 環境負荷マスマバランス

Input 全社 Output

Input	事業活動	Output
電力: 356,626kWh		二酸化炭素: 189t
ガソリン: 20,954リットル		一般廃棄物排出量: 1,107kg
灯油: 2,217リットル		産業廃棄物排出量: 10,352kg
水: 608t		排水量: 608t
紙: 775kg		

Input 本社 Output

Input	事業活動	Output
電力: 62,137kWh		二酸化炭素: 25t
ガソリン: 645リットル		一般廃棄物排出量: 289kg
水: 158t		産業廃棄物排出量: 3,430kg
紙: 182kg		排水量: 158t

Input TWSE Output

Input	事業活動	Output
電力: 221,211kWh		二酸化炭素: 119t
ガソリン: 15,287リットル		一般廃棄物排出量: 675kg
水: 333t		産業廃棄物排出量: 6,535kg
紙: 450kg		排水量: 333t

Input 山形 Output

Input	事業活動	Output
電力: 52,429kWh		二酸化炭素: 34t
ガソリン: 3,909リットル		一般廃棄物排出量: 143kg
灯油: 2,217リットル		産業廃棄物排出量: 387kg
水: 117t		排水量: 117t
紙: 143kg		

Input 一関 Output

Input	事業活動	Output
電力: 20,849kWh		二酸化炭素: 11t
ガソリン: 1,113リットル		

※本社・テクノワークス仙台東は工場移転の為監視期間としており参考値となります。
 ※TWSE:テクノワークス仙台東の略称



凌和電子株式会社

〒984-0805

宮城県仙台市若林区南材木町48番地

URL : <http://www.ryowa-electronics.co.jp/>

お問い合わせ：品質管理課(瀬野尾・永峯)

TEL:022-287-1041 FAX:022-287-1043

発行：2024年10月 次回発行予定：2025年10月